



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 ワイエイシー株式会社
 コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 百瀬 武文
 (氏名) 宮本 忠泰

TEL 042-546-1161

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,788	20.8	△158	—	△192	—	132	370.5
23年3月期第3四半期	6,450	50.3	260	—	234	—	28	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 144百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △71百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	14.54	—
23年3月期第3四半期	3.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,651	10,666	44.5
23年3月期	18,442	10,898	59.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 10,524百万円 23年3月期 10,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	47.8	850	21.5	800	10.0	700	76.8	76.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社デンコー、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページの「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,674,587 株	23年3月期	9,674,587 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	755,232 株	23年3月期	376,890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,137,675 株	23年3月期3Q	9,297,715 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたりましては、添付資料3ページの「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アジア新興国に支えられ緩やかな成長を維持しているものの、欧州債務問題の再燃、米国の財政赤字削減問題、そして中国・インドのインフレ懸念からの金融引締による成長率鈍化等により、景気の下振れ懸念が強まり、先行き不透明な状況が続いております。一方日本経済は、東日本大震災後の落ち込みから、サプライチェーンの復旧に伴い急速に持ち直しましたが、夏場の電力不足、タイの大規模洪水の影響、そして根強い円高圧力等の厳しい状況により秋口からの回復ペースが大きく鈍化しております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、成長基調にあるアジア地域を中心に、高付加価値商品の提案型の営業展開を図り売上確保に努めましたが、先行き不透明感による設備投資の抑制、顧客ニーズの多様化、加えて価格競争の激化等が収益を圧迫いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高77億88百万円（前年同四半期比20.8%増）、営業損失1億58百万円（前年同四半期は営業利益2億60百万円）、経常損失1億92百万円（前年同四半期は経常利益2億34百万円）、四半期純利益1億32百万円（前年同四半期比370.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、パソコン、カーナビ等の需要停滞に加え、タイの大規模洪水の影響による設備投資の遅延等により厳しい状況にありましたが、UVキュア機や搬送機等の拡販により業績は底堅く推移しました。

半導体関連装置分野では、新興国の自動車・家電等に係る半導体需要やスマートフォン・タブレット端末等の需要により秋口までは好調に推移しましたが、設備投資意欲に充足感が生じ、業績は後退しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォン・タブレット端末等の需要により中型装置を中心に売上は確保しましたが、海外メーカーとの競合により、収益面では低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、再生可能エネルギーへの期待から売上の増加が予想されましたが、太陽光パネルの過剰在庫に起因する設備投資の先送りや価格競争等により、業績は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は69億90百万円（前年同四半期比23.3%増）となり、営業利益は1億34百万円（前年同四半期比74.8%減）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連その他事業では、ライフスタイルの変化等に伴うクリーニング需要の減少、業界自体の収縮、そして再編という厳しい事業環境のなか、国内外の営業強化を図るとともに生産拠点の整備等の一層のコストダウンに努め、売上高・収益を確保しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は7億98百万円（前年同四半期比2.4%増）となり、営業利益は70百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は198億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億80百万円増加しました。主な増加は仕掛品56億20百万円、現金及び預金3億56百万円、繰延税金資産2億18百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金15億33百万円であります。固定資産は38億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加しました。主な増加は有形固定資産3億54百万円、無形固定資産37百万円であり、主な減少は投資その他の資産2億64百万円であります。

その結果、総資産は236億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億8百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は102億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億6百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金32億5百万円、短期借入金3億29百万円、1年内償還予定の社債1億40百万円であります。固定負債は27億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億34百万円増加しました。主な増加は退職給付引当金1億65百万円、社債1億23百万円、長期借入金1億15百万円であります。

その結果、負債は129億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億40百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は106億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少しました。主な減少は自己株式の取得2億70百万円であり、主な増加は少数株主持分1億42百万円であります。

この結果、自己資本率は44.5%（前連結会計年度末は59.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、先行き不透明な世界経済のなか、得意先企業の再編、生産設備への投資の凍結・先送り、そして円高の進行に伴う海外メーカーとの競合激化等の懸念材料が多く、依然として予断を許さない厳しい状況にあります。このような事業環境のなか、当グループは、中国を中心としたアジア市場へ積極的に展開を図るとともに原価の低減を行い、受注の獲得・収益の増大に努めてまいります。

通期連結業績見通しにつきましては、平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を変更しております。変更の詳細は平成24年2月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社である株式会社デンコーの発行済株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,538,008	6,894,511
受取手形及び売掛金	5,775,778	4,242,321
商品及び製品	112,199	158,777
仕掛品	1,760,379	7,380,945
原材料及び貯蔵品	312,791	386,606
繰延税金資産	138,177	356,292
その他	126,471	427,417
貸倒引当金	△2,097	△4,227
流動資産合計	14,761,707	19,842,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,804,413	2,242,166
減価償却累計額	△1,268,233	△1,611,411
建物及び構築物（純額）	536,179	630,754
機械装置及び運搬具	60,347	224,994
減価償却累計額	△50,227	△195,351
機械装置及び運搬具（純額）	10,120	29,643
工具、器具及び備品	1,337,516	1,492,857
減価償却累計額	△1,044,641	△1,278,704
工具、器具及び備品（純額）	292,875	214,152
土地	2,054,837	2,374,622
リース資産	39,256	49,288
減価償却累計額	△17,230	△28,304
リース資産（純額）	22,026	20,983
有形固定資産合計	2,916,038	3,270,156
無形固定資産		
のれん	72,793	61,113
その他	24,085	73,198
無形固定資産合計	96,878	134,312
投資その他の資産		
投資有価証券	376,062	138,548
長期貸付金	68	148
繰延税金資産	250,809	211,927
長期滞留債権等	68,231	68,209
その他	51,206	63,332
貸倒引当金	△78,231	△78,209
投資その他の資産合計	668,146	403,956
固定資産合計	3,681,063	3,808,425
資産合計	18,442,771	23,651,071

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,658,055	6,863,342
短期借入金	687,496	1,017,380
1年内償還予定の社債	300,000	440,880
未払法人税等	12,724	5,750
賞与引当金	105,698	76,170
製品保証引当金	—	47,858
未払費用	221,527	227,914
その他	221,177	1,533,813
流動負債合計	5,206,679	10,213,109
固定負債		
社債	700,000	823,510
長期借入金	1,072,504	1,188,166
リース債務	19,181	14,901
繰延税金負債	85,381	65,804
退職給付引当金	460,436	626,302
役員退職慰労引当金	—	53,215
固定負債合計	2,337,502	2,771,899
負債合計	7,544,182	12,985,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,126,850	5,077,577
自己株式	△376,106	△646,134
株主資本合計	11,089,701	10,770,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,076	△364
為替換算調整勘定	△200,188	△246,011
その他の包括利益累計額合計	△191,112	△246,376
少数株主持分	—	142,038
純資産合計	10,898,588	10,666,062
負債純資産合計	18,442,771	23,651,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,450,168	7,788,858
売上原価	4,963,147	6,333,938
売上総利益	1,487,021	1,454,920
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	446,326	614,701
賞与引当金繰入額	16,410	25,623
福利厚生費	20,622	27,104
賃借料	48,280	55,675
業務委託費	45,659	52,577
研究開発費	167,879	178,542
減価償却費	88,932	100,467
その他	391,983	559,108
販売費及び一般管理費合計	1,226,093	1,613,801
営業利益又は営業損失(△)	260,927	△158,880
営業外収益		
受取利息	2,863	3,836
受取配当金	1,108	1,934
受取賃貸料	8,458	7,920
補助金収入	22,205	1,300
その他	10,573	5,926
営業外収益合計	45,209	20,917
営業外費用		
支払利息	27,682	32,533
為替差損	29,507	15,335
ファクタリング料	862	45
持分法による投資損失	805	654
その他	12,792	6,447
営業外費用合計	71,650	55,017
経常利益又は経常損失(△)	234,486	△192,980

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	153	—
負ののれん発生益	—	255,207
特別利益合計	153	255,207
特別損失		
固定資産除売却損	596	1,816
投資有価証券売却損	986	—
投資有価証券評価損	49,859	—
訴訟損失引当金繰入額	27,685	—
段階取得に係る差損	—	49,513
特別損失合計	79,127	51,330
税金等調整前四半期純利益	155,512	10,896
法人税、住民税及び事業税	20,861	8,627
法人税等調整額	106,402	△198,131
法人税等合計	127,264	△189,503
少数株主損益調整前四半期純利益	28,248	200,400
少数株主利益	—	67,502
四半期純利益	28,248	132,897

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,248	200,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,561	△10,268
為替換算調整勘定	△84,128	△45,822
その他の包括利益合計	△99,689	△56,091
四半期包括利益	△71,441	144,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,441	77,633
少数株主に係る四半期包括利益	—	66,674

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,670,421	779,747	6,450,168	—	6,450,168
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,670,421	779,747	6,450,168	—	6,450,168
セグメント利益	534,662	67,483	602,146	△341,219	260,927

(注) 1. セグメント利益の調整額△341,219千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,990,065	798,792	7,788,858	—	7,788,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,990,065	798,792	7,788,858	—	7,788,858
セグメント利益	134,674	70,060	204,734	△363,615	△158,880

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,615千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「産業用エレクトロニクス関連事業」セグメントにおいて、第3四半期連結累計期間に株式会社デンコーの株式を追加取得したことにより、持分法適用関連会社から連結子会社となりました。

この結果255,207千円の負ののれん発生益を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。